

小郡・七夕神社 「恋人の聖地」に

県内4カ所目、市も後押し

小郡市大崎の七夕神社とその周辺が、NPO法人「地域活性化支援センター」が認定する「恋人の聖地」に選ばれた。県内では4カ所目。市は観光振興につなげるため、デートコースの設定や婚活イベントの実施、関連する菓子の開発を支援する方針。

「恋人の聖地」は、プロポーズにふさわしい場所を選定し、それを地域おこしにつなげてもらうために支援センターが企画した。県内では福岡タワー（福岡市）、門司港レトロ地区（北九州市）、夏井ヶ浜はまゆう公園（若井町）が選ばれている。

七夕神社は肥前風土記（8世紀前半）に記述があるほど古く、機織りの神として信仰を集めた。中国から牽牛・織姫の故事が伝わると、従来の信仰と結びついて「七夕さま」として崇敬されるようになった。

市は、「恋人の聖地」の銘板設置や除幕式開催費の補助として100万円を一般会計補正予算案に計上し、12月2日開会の定例市議会に提案する。（宮田富十男）



①「恋人の聖地」の銘板を持つ小郡市のイメージキャラクター「ひこぼしくん」（右）と「おしひめちゃん」②七夕神社③いずれも小郡市

